



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社Geolocation Technology 上場取引所 福
コード番号 4018 URL <https://www.geolocation.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 敬介
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 山崎 陽子 TEL 055 (916) 0294
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績 (2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	363	△4.2	39	△46.5	39	△46.3	26	△45.8
2023年6月期第2四半期	379	3.3	72	△33.7	73	△25.9	49	△26.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	17.40	17.08
2023年6月期第2四半期	32.86	31.36

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	734	578	78.1
2023年6月期	703	559	78.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 573百万円 2023年6月期 554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2024年6月期	-	-	-	-	-
2024年6月期 (予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	834	8.7	155	33.5	155	32.1	106	181.5	69.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	1,548,800株	2023年6月期	1,548,800株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	6株	2023年6月期	6株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	1,548,794株	2023年6月期2Q	1,514,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、内需が緩やかに回復しつつあります。一方で、エネルギー価格の高騰や円安進行による物価の上昇など、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社は「独自の技術とノウハウを開発し、地域社会にとって価値のある新しいインターネットサービスを提供する」という企業理念のもと、インターネットを通じて「地域社会の活性化」を行うことを使命とし、日々、事業活動を行っています。

当第2四半期累計期間において、当社が保有する「SURFPOINT™」データベース及び「SURFPOINT™」をWeb上で利用できる「どこどこJP」の機能強化・価値向上を中心に取り組んでまいりました。この中で、生成AIのChatGPTとの連携、自宅、会社、店舗の無線LANや公衆無線LANサービスなどのWifiスポット情報の追加など、新たな分野への対応にも取り組み、新たな特許を出願いたしました。今後も引き続き、技術力や企業価値の向上に努めていきます。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は363,346千円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は39,024千円（前年同四半期比46.5%減）、経常利益は39,442千円（前年同四半期比46.3%減）、四半期純利益は26,955千円（前年同四半期比45.8%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(IP Geolocation事業)

IPアドレスに様々な情報を紐づけたデータベースの利用サービスである「SURFPOINT™」及びWebサイトを訪問した企業のリスト化や経路分析などの本格的なウェブ解析を簡単に行うことのできる「らくらくログ解析」は、既存の取引先に安定的な継続利用をいただいております。この2つのサービスの売上高は堅調に推移しております。12月には「SURFPOINT™」において、企業情報やWifiスポット等の情報量を増やした結果、全体の容量は14万件から18.3万件に増加しており、これを受けて金融関連サービスやメディア関連企業へのアプローチを強化し、複数の引き合い案件も獲得しつつあります。

「SURFPOINT™」をWeb上で利用できる「どこどこJP」は、前第2四半期累計期間と比較して顧客数は減ったものの売上高は増加しました。これは、2023年1月に実施した価格改定と、Google社が提供するアクセス状況の解析ツールであるGA4(Google Analytics 4)設定やWebサイトアクセス解析レポートなどの作成支援サービスの積極的な受注活動の効果によるものであります。これに加え、前事業年度より提供を開始している、自社サイトへアクセスした企業の情報が管理画面で表示できるBtoBアクセス企業レポートに加えて、Wifiアクセスレポート機能とChatGPTによる分析機能を付加したことで、解約数の増加の歯止めにも効果をあげることができました。今後は、Webサイトの作成で多く利用されているコンテンツ管理マネージャ(CMS)のWordPressに、店舗管理プラグインを提供するなど、更なる機能追加を積極的に行うことでサービスの品質向上を行って解約防止に努めると共に、2023年8月にリリースした無料プランの有償化に向けた販売促進活動、有力販売代理店への営業支援を強化し、新規顧客開拓に積極的に取り組んでまいります。

インターネットユーザーのIPアドレスから位置情報や気象情報等を判定するターゲティング広告配信サービスである「どこどこad」は前第2四半期累計期間と比較し売上高が大きく減少しましたが、これはシステムの不具合による広告配信数の減少と前事業年度に獲得できたような大型案件の受注に至らなかったことによるものであります。不具合については、すでに対応済みであり、今後は機能の安定化とさらなる顧客獲得に努めてまいります。

「Web制作・各種受託開発」は、大型のWebサイトリニューアル案件の受注とWebベースでの非接触型スタンプラリーのサービスである「てくてくスタンプ」が堅調に推移し、前年同期と比べ売上高が増加しました。今後は「てくてくスタンプ」で無料プランの提供も行い、YouTuberによるスタンプラリー体験動画をYouTubeで紹介し、認知度の向上と売上増に取り組みます。

これらの結果、当第2四半期累計期間における同事業の売上高は350,003千円（前年同四半期比6.2%増）、セグメント利益は26,630千円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

(IPアドレス移転事業)

当第2四半期累計期間に、予算計上通りに案件の仲介はできたものの、同事業の売上高は13,343千円（前年同四半期比73.2%減）、セグメント利益は12,394千円（前年同四半期比74.7%減）となりました。

なお、売上高及びセグメント利益が前年同四半期比で減少しておりますが、前事業年度においては売上高が約500万円の大型のIP移転案件を受注している一方、当事業年度においては、予算上大型案件の受注を見込んでおらず、当第2四半期累計期間では予算どおりの結果となっております。今後も更なる取引先確保に向け、営業活動を積極

的に行ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前事業年度末と比較して36,928千円増加し、692,561千円となりました。これは主に、現金及び預金が16,981千円及び売掛金が11,328千円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末と比較して5,560千円減少し、42,173千円となりました。これは主に、投資その他の資産に含まれる長期前払費用が3,873千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して31,367千円増加し、734,735千円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末と比較して12,418千円増加し、153,718千円となりました。これは主に、前受金が7,838千円及び未払金が4,275千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末と比較して18,949千円増加し、578,676千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が19,211千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比較して16,981千円増加し、574,391千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な変動要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、26,995千円の収入（前年同四半期は11,697千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益39,705千円に対し、売上債権の増加14,191千円、前受金の増加10,702千円、未払金の増加4,371千円、前払費用の増加3,267千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,269千円の支出（前年同四半期は63,975千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出2,269千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、7,743千円の支出（前年同四半期は13,307千円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額7,743千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月14日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であると見込んでおりますが、当業績予想について修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,409	574,391
売掛金	70,205	81,533
仕掛品	—	418
貯蔵品	123	90
前払費用	25,735	32,865
その他	2,256	3,385
貸倒引当金	△97	△121
流動資産合計	655,633	692,561
固定資産		
有形固定資産(純額)	3,541	3,356
無形固定資産	11,497	10,517
投資その他の資産	32,696	28,299
固定資産合計	47,734	42,173
資産合計	703,368	734,735
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,376	2,650
未払費用	34,615	34,728
未払法人税等	15,366	15,206
前受金	49,447	57,286
その他	39,493	43,847
流動負債合計	141,300	153,718
固定負債		
その他	2,340	2,340
固定負債合計	2,340	2,340
負債合計	143,640	156,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,186	229,186
資本剰余金	220,686	220,686
利益剰余金	104,608	123,820
自己株式	△8	△8
株主資本合計	554,473	573,685
新株予約権	5,254	4,991
純資産合計	559,727	578,676
負債純資産合計	703,368	734,735

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	379,204	363,346
売上原価	124,611	140,376
売上総利益	254,592	222,970
販売費及び一般管理費	181,677	183,945
営業利益	72,915	39,024
営業外収益		
受取利息	3	2
助成金収入	285	—
講演謝金	221	391
その他	1	23
営業外収益合計	510	417
経常利益	73,426	39,442
特別利益		
新株予約権戻入益	—	262
特別利益合計	—	262
税引前四半期純利益	73,426	39,705
法人税、住民税及び事業税	22,332	12,226
法人税等調整額	1,318	522
法人税等合計	23,651	12,749
四半期純利益	49,774	26,955

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	73,426	39,705
減価償却費	2,185	3,005
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	24
受取利息	△3	△2
助成金収入	△285	—
講演謝金	△221	△391
新株予約権戻入益	—	△262
売上債権の増減額(△は増加)	△12,171	△14,191
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,045	△418
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,405	273
前受金の増減額(△は減少)	4,285	10,702
前払費用の増減額(△は増加)	△1,377	△3,267
未払金の増減額(△は減少)	14,808	4,371
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,357	180
その他	△13,276	△739
小計	52,565	38,987
利息の受取額	3	2
助成金の受取額	285	—
講演謝金の受取額	221	391
法人税等の支払額	△41,378	△12,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,697	26,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,390	—
無形固定資産の取得による支出	△1,100	△2,269
投資有価証券の取得による支出	△61,500	—
敷金の差入による支出	△75	—
敷金の回収による収入	90	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,975	△2,269
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,720	—
配当金の支払額	△15,027	△7,743
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,307	△7,743
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,586	16,981
現金及び現金同等物の期首残高	594,649	557,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	529,063	574,391

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	329,452	49,752	379,204	—	379,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	329,452	49,752	379,204	—	379,204
セグメント利益	23,887	49,027	72,915	—	72,915

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	IP Geolocation 事業	IPアドレス 移転事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	350,003	13,343	363,346	—	363,346
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	350,003	13,343	363,346	—	363,346
セグメント利益	26,630	12,394	39,024	—	39,024

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。